

今年度の星峯東校区社協の1日ふれあい旅行

焼酎の里、大口を訪ねました！

11月26日(日)のふれあい旅行行先は大口でした。これまでの社協の旅行では一度も取り上げられたことがなかった伊佐市。旅行のメインテーマは「焼酎」です。東小を出発したバスはまず伊佐市の中央にある「郡山八幡神社」に向かいました。16世紀頃、修理を依頼した施主が、宮大工に一滴も焼酎を飲ませなかったので「この施主はけちである」と柱の装飾部分に落書きがあったことで16世紀には既に「焼酎文化」があったというユニークな史実があります。



その後「曾木の滝」へ向かいます。滝幅210m高さ12mの滝。水量の多い時期ではなかったですが、流れ落ちる大瀑布の景観は「東洋のナイアガラ」と異名を持つだけあり圧巻です。その奥にひっそりと曾木発電所遺構があり、ここも又、日本化学工場発祥の地と言われます。

曾木の滝内の食堂で「鯉のあらい、鯉こく」の料理でお腹を満たした後は、「焼酎伊佐錦」の大口酒造を見学です。大口盆地を見下ろす工場では「焼酎が出来るまでの工程」のビデオ観賞、ビデオ鑑賞が終わると舞台の窓は開放され、秋の収穫作業の終わった悠々たる伊佐盆地が見え、工場見学に訪れた者を飽きさせない景観作り等工夫がされていました。盆地の寒暖差、市内を悠々と流れる一級河川の川内川の川の水は焼酎作りにも適しているけれども、寿司米としても一番美味しいお米だということです。工場を出て、最後に湧水町の「丸池湧水」に向かいました。「日本名水百選」の一つに選ばれている丸池は日量約6万トンの水が湧き出しています。32人の参加者はゆっくりと散策を楽しみ帰路につきました。

この社協のふれあい旅行に何年も参加している人は「今年も楽しかった。いつも楽しみに友人と参加しているんです」という声を届けてくれました。改めてそれぞれの地域には素晴らしい宝があるんだと地域再発見のふれあい旅行でした。

福祉委員 内村 かすみ

町内会活動紹介

昂町内会

グラウンドゴルフで
元気に楽しく！

私たちは昂グラウンドゴルフ同好会です。みんなで童心に帰り、健康作りをしています。代表は井ノ上清十四さんです。

「やったー入った！ホールインワン！」
「しもたーそっちじゃなかー！」

いつも笑いと悲鳴にも似た喚声が絶えませんが、毎週火曜日と金曜日に20数名で仲良くプレーしています。第20公園はわれらが競技場&社交場です。スコアじゃないよ、されどスコア！

8時半に集合、10時頃まで、身体も心も元気が一番！をモットーに楽しんでいきます。この日は米寿祝いの方を祝い、記念撮影をしました。

福祉委員 上原 逸男



星峯東校区★社協だより★星峯東校区社会福祉協議会

発行 令和6年2月

地域に密着した社会福祉協議会をめざして

星峯東校区社会福祉協議会
会長 加治木 達哉



令和6年の年明け早々、能登を震源とする「令和6年能登半島地震」にて、先ずは被害に合われた皆様には謹んでお見舞いを申し上げます。被害を受けられた皆様の安全と1日でも早く平穏な生活に戻られますことを心よりお祈り申し上げます。被災地の社会福祉協議会は、民間団体としての機動性と社会福祉法人としての公益性、地域住民との日常的な結びつきを活かし、行政や関係団体と協働して災害ボランティアセンターを開設・運営しております。災害ボランティアセンター終了後も、地域住民の困りごとに寄り添い、被災地の復興を長く支えていく予定だそうです。

さて、星峯東校区社会福祉協議会では、計画通りに活動を終えることができました。10月29日(日)に行われました校区文化祭では、星峯東校区社会福祉協議会設立30周年特別企画として福祉フェアも実施することができ、大盛況となりました。

近年、少子高齢化、核家族化の急速な進展や、近隣関係の希薄化等によって、地域のつながりや支えあいのある関係性を持つことが難しくなっています。こうした課題に対して、星峯東校区の皆様と一緒に考え

ながら解決に向けて取り組んでおります。何が起きるか分からない世の中、今後も会員一丸となって地域の皆様とともに地域に密着した取り組みを積極的に展開し、皆様が必要とされる社会福祉協議会を目指して参りたいと思います。

今後も引き続きのご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

藍綬褒章受章

この度、星ヶ峯東町内会在住の冠満良子さんが、長年、民生委員・児童委員の会長、星峯東校区社会福祉協議会会員として、社会福祉の増進等に優れた功績を挙げられた事に対して「藍綬褒章」を受章されました。

本当におめでとうございます。



福祉委員 栗栖 富貴子

令和5年秋 藍綬褒章 受章

令和5年度の福祉対策部の活動を振り返って

私ども星峯東校区社会福祉協議会も昨年30周年を迎えました。前年度、30周年記念行事を何かしなければと言うことに決まり、今年度は特に福祉対策部に頑張っていたいただき、下記の行事を行いましたのでご紹介いたします。

今年も宜しくお願い申し上げます。新年早々に能登大震災、羽田空港大事故が立て続けに発生し荒ぶる龍年となりました。我が国は阪神、東北、熊本、能登と何時でも大地震や津波が起きる災害国である事を肝に銘じ、平時からの準備が欠かせないようです。

さて冒頭から深刻な話となりましたが、昨年の福祉対策部の3つの活動をご報告いたします。参加された各町内会様、関係者様に改めてお礼と感謝申し上げます。福祉対策部長 上原 逸男

東校区社協設立30周年記念行事「あんしん福祉フェア」

東小学校に介護用品を展示

10月29日、星峯東校区コミュニティ文化祭に合わせて、最新の介護ベッド、車椅子などを展示しました。55名の方が来場、自分で操作し動ける快適な最新機器を体験され、大盛況となりました。カクイクスウイングさんのご協力、岩元文雄社長も挨拶に見える中、社員5名で展示と説明をして頂き、星ヶ峯包括支援センターさんからも2名で介護相談にあたって頂きました。参加者の方にはかねて触れることの少ない介護器具、介護情報を身近で体験して頂く良い機会となりました。



星峯東小児童7名が赤い羽根共同募金を行いました



10月29日(日)校区コミュニティ文化祭の行われる体育館入口において、東小の児童に赤い羽根共同募金に参加して頂き、東校区社会福祉協議会のメンバーとともに来場者に呼びかけました。1時間あまりで14,426円の地域の温かい志が集まりました。参加児童の皆さんには爽やかで貴重な体験となったよう



です。児童の皆さん、募金頂いた皆さんありがとうございました。

募金は早速30日に共同募金委員会に持参し大変感謝されました。ご協力の皆様ありがとうございました。



介護講習会で「いざ、介護になったら？」を勉強しました

9月2日(土)星ヶ峯福祉館において、介護講習会を開催しました。いざ介護に直面したら家族はどう対応するか、いきなり判断しなければなりません。どこから手を付けるのか、ある程度の理解、事前知識がないと手が打てません。

今回、介護支援のプロである鹿児島市包括支援センター川口講師にお願いして、介護者と介護される人双方の立場で介護が円滑に開始

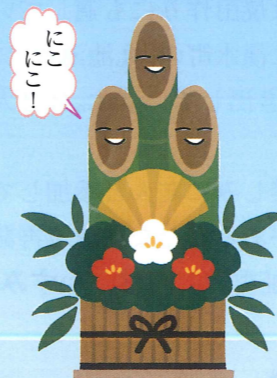


できるように、介護保険の仕組みから、受けられるサービス内容、介護保険を利用して介護体制を作るまでをイラスト入り解説書を配布いただき、詳しくお話を頂きました。32名の方が参加、熱心に勉強され、高齢化社会に欠かせない講習会となりました。



この日、各町内会にお住まいの90歳以上の方に、敬老祝いとして2kg入りのお米を贈呈しました。お米は各町内会の福祉委員がお届けしました。

年末行事 おやじの会の門松作り



12月17日、おやじの会のみんなで星峯東小学校の門松作りを実施いたしました。当日は風も強くとても寒い中、地域の方々や校長先生、教頭先生、おやじの会で、茂頭の裏山で竹を切り出す作業を行い、鬼火焚きの櫓作りの分も含めてトラック2台満杯の竹を、東小学校に持ち帰りました。

門松用の竹を切る作業も、その切り口と同じように、みんな笑顔で取り組んでいました。子どもたちに良いお正月が来るようにと、松、梅、南天とユズリ葉などで綺麗に飾り付け、正門と通用門に2対の立派な門松を作る事が出来ました。福祉委員 南 祐輝

